

天神川水系水質汚濁防止連絡協議会幹事会を開催

(河川管理課)

倉吉河川国道事務所で管理する天神川、小鴨川などの河川の水質は全国有数のきれいさ[※]を誇っており、住民の身近にある癒しと憩いの場になっています。また、この豊かな自然の恵みは漁業や農業にとって必要不可欠なものです。この良好な水質を守っていくため、県や市町、警察、消防などで天神川水系水質汚濁防止連絡協議会を構成し、万が一の水質事故に備えています。去る平成24年11月6日に当協議会の基幹メンバーによる幹事会を開催しました。

※ 平成23年度BOD全国一級河川ランキングで164河川中、小鴨川は3位クラス、天神川は8位クラス



幹事会の様子

幹事会構成員

鳥取県	危機管理局 消防防災課、生活環境部 水・大気循環課、農林水産部 農地・水保全課、水産振興局 水産課、県土整備部 河川課、中部総合事務所 生活環境局、維持管理課
倉吉警察署	
中部ふるさと広域連合 消防局	
倉吉市	産業環境部 環境課、農林課、建設部 建設課、下水道課、水道局 工務課
湯梨浜町	町民課、建設水道課
三朝町	町民課、建設水道課
北栄町	住民生活課、地域整備課
(財)鳥取県天神川流域下水道公社	
国土交通省 倉吉河川国道事務所	

幹事会の内容

- ①昨年度発生した水質事故(7件)について事務局から報告。発生場所は偏りがなく分散していること、発生時期は自動車のスリップ事故や灯油等の油類を使用することが増える冬季に多い。
- ②天神川水系の水質は、昨年一年間の調査の結果では、天神川、小鴨川とも中国地方、全国においても指折りの良好な水質。管内にある11の小中高校の協力により行われた水生生物調査においても調査した全地点で「きれいな水」と判定された。
- ③重大事故を想定した情報伝達訓練を、11月14日(平日の昼間)と11月17日(休日の夜間)に実施することに。水質事故が発生した場合、その被害を最小限に抑えるためには、各関係機関と緊密な連携と適切な初動が重要。そのためには迅速かつ的確な情報伝達が不可欠。訓練では実際に迅速に伝達できるのか、伝達における問題点は何かを探ることを目的に実施。
- ④12月初旬、小鴨川と合流する玉川の河口部において、各機関参加のもとオイルフェンス等を実際に展張する訓練も実施。
- ⑤水質事故は発生しないことが望ましいことから、事故防止に向けた日頃からの市民に向けた啓発も大事であることを確認。各機関において広報にも取り組む。